

フォトダイナミックセラノスティクスに関するシンポジウム

趣 旨： がんの治療には、現在、薬剤投与、放射線照射が主に用いられている。体への負担が少なくしようと光を照射してがん細胞を死滅させよとする試みが始まっている。この手法はセラノスティクスと呼ばれ、がん治療の新しい手法として期待されている。今回のシンポジウムは、セラノスティクスに携わる我が国の研究者が一堂に会し、現状の開発状況を披露し次のステップにつながるヒントを得ようとシンポジウムを計画した。是非、興味のある方々の参加を歓迎します。

日 時： 2017年 1月21日（土）、12時より17時30分

場 所： 静岡大学浜松キャンパス、S-Port 3階 大会議室

参加費： 無料

プログラム：

- | | | | |
|-------|---|-----------------|------|
| 12:00 | 受付開始 | | |
| 12:30 | オルガナイザー 挨拶、話題提供 | (静岡大学) | 平川和貴 |
| | フォトダイナミックセラノスティクスを志向した電子ドナー結合ポルフィリン光増感剤 | | |
| 12:45 | 特別招待講演1 | (筑波大学/京都府立医科大学) | 松井裕史 |
| | 活性酸素によるがん固有ポルフィリン集積の制御 | | |
| 13:15 | 招待講演1 | (浜松医科大学) | 岡崎茂俊 |
| | 光増感剤の近赤外発光による評価について | | |
| | 招待講演2 | (静岡県立大学) | 伊吹裕子 |
| | ヒストン H2AX リン酸化を指標とした光毒性評価法の開発 | | |
| 14:10 | 招待講演3 | (静岡大学) | 大多哲史 |
| | がん温熱治療、診断技術への応用を目指した磁性ナノ粒子の磁化特性およびがん治療効果の評価 | | |

- 招待講演4 (山梨大学) 小播 誠
光増感剤デリバリーのための高分子キャリアの合成
- 招待講演5 (群馬大学) 堀内宏明
光線力学治療法の副作用低減を目指した pH 応答性ポルフィリン誘導体の開発
- 15:25 招待講演6 (宇部工業高等専門学校) 廣原志保
ポルフィリンを用いたセラノスティクス薬剤の創成
- 招待講演7 (九州大学) 篇越 恒
実用化を志向した構造異性化ポルフィリン光増感剤の開発
- 招待講演8 (宮崎大学) 松本 仁
生体親和性を考慮した水溶性高原子価金属ポルフィリン錯体の開発
- 16:40 特別招待講演2 (東京工業大学) 中村浩之
ポルフィリン脂質の細胞内局在化と PDT 効果への影響
- 17:10 総評・特別招待講演 (福井大学/静岡大学) 三好富雄
次世代 PDT の併用治療用光増感剤の検証
- 17:30 総評・閉会 (奈良先端科学技術大学院大学) 垣内喜代三
- 17:45 情報交換会